

平成 26 年度

教育に関する事務の管理及び
執行の状況点検・評価の結果
に関する報告書

(平成 25 年度事業分)

常陸大宮市教育委員会

目 次

1	点検評価の概要	
(1)	趣旨	1
(2)	点検及び評価の対象	1
(3)	点検及び評価の方法	1
(4)	平成25年度に教育委員会が実施した主な事務事業 の点検及び評価結果	2
2	教育委員会の活動状況	
(1)	教育委員の選任状況	3
(2)	教育委員会会議の開催状況	3
(3)	会議及び研修会等への参加状況	4
(4)	その他	4
3	個別事務事業（平成25年度事業）の点検評価結果	5
(1)	奨学資金等貸与事業	7
(2)	小学校・中学校通学対策事業（スクールバス運行等）	8
(3)	学校教育活動指導員配置事業	9
(4)	学校施設整備事業	10
(5)	教育支援センターカウンセラー・相談員配置事業	11
(6)	放課後子ども教室事業	12
(7)	郷育立市づくり・生涯学習推進事業	13
(8)	社会体育施設管理事業	14
(9)	公民館講座開催事業（大宮公民館）	15
(10)	0歳児読書推進事業（ブックスタート事業）	16
4	常陸大宮市教育行政点検評価委員の総合的所見	17

1 点検評価の概要

(1) 趣旨

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）の規定により、教育行政の責任体制の明確化を図るため、教育長に委任した事務も含めて、その権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価を行い、公表することが義務付けられています。これに基づき、市教育委員会では、より効果的な教育行政の推進を図るべく、平成25年度の教育委員会活動状況及び実施した事務事業について、教育に関し学識経験を有する外部委員の意見を徴し、点検及び評価を行い、その結果を報告書としました。

(2) 点検及び評価の対象

平成26年度に実施する点検評価対象事業は、常陸大宮市教育振興基本計画（平成25年度～平成30年度）の基本施策として実施する事業、常陸大宮市総合計画（実施計画）における平成25年度重点事業及びその他点検評価が必要と認める事業から10事業を選定いたしました。

(3) 点検及び評価の方法

教育委員会が平成25年度に実施した事務事業を「教育委員会の活動」、
「教育委員会が行った事務事業（点検評価対象10事業）」の二つに大別し、点検評価内容の客観性を確保するため、常陸大宮市教育行政点検評価委員規程（平成21年教委訓令第11号）に基づき委嘱した外部委員から事業の点検評価を受け、事業評価に対する意見を求めるとともに市の教育に関する事務の管理、執行状況の点検評価に関する所見を求めました。

① 委員会開催日

- 第1回 平成26年10月28日（火）
行政点検評価対象事業の説明及び事業の選定
- 第2回 平成26年11月19日（水）
対象事業の点検評価実施、委員の意見集約

② 教育行政点検評価委員（順不同）

- ・望月 厚志 氏（茨城大学教育学部教授）
- ・新家 洋一 氏（茨城県県南生涯学習センター次長）
- ・沼田 彰 氏（元常陸大宮市監査委員）

（４）平成２５年度に教育委員会が実施した主な事務事業の点検及び評価結果

内部評価			委員による点検評価		
【①事業執行状況】					
	事業数	比率			
A 必要性・効果は高い	9	90.0			
B 必要性・効果はある	1	10.0			
C 必要性・効果はない	—	—			
【②今後の方針】					
	事業数	比率			
廃止・休止	—	—			
縮小	—	—			
見直し	—	—			
現行どおり	6	60.0			
拡充	4	40.0			
			【評価結果】		
	事業数	比率			
廃止・休止	—	—			
縮小	—	—			
見直し	—	—			
現行どおり	6	60.0			
拡充	4	40.0			

※参考：評価結果の考え方

廃止・休止	事業を実施する必要がなくなったもの 別の事業に置き換えていけるもの 事業が終了したもの
縮小	事業内容の見直しを行い縮小が必要なもの
見直し	事業内容の見直しが必要なもの
現行どおり	現状の予算等で事業効果が得られるもの
拡充	事業費を増やすことで事業効果が高まるもの

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会委員の選任状況

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

○ 委員長・職務代理者		
職	氏 名	備 考
委 員 長	宮 田 慎	委員長 H24.10.20 ～ H25.10.19
	菊 池 泰 弘	委員長 H25.10.21 ～
委員長 職務代理者	菊 池 泰 弘	代理者 H25. 2.23 ～ H25.10.20
	星 野 幸 子	代理者 H25.10.21 ～
○ 委員・教育長		
委 員	横 山 英 生	任 期 H21.10.20 ～ H25.10.19
委 員	宮 田 慎	任 期 H21.10.20 ～ H25.10.19
委 員	菊 池 泰 弘	任 期 H25. 2.23 ～ H29. 2.22
委 員	星 野 幸 子	任 期 H25. 2.23 ～ H29. 2.22
委 員	諸 澤 信 子	任 期 H25.10.20 ～ H29.10.19
委 員	茅 根 正 憲	任 期 H25.10.20 ～ H29.10.19
教 育 長	上久保 洋 一	任 期 H23.12.24 ～ H27.12.24

(2) 教育委員会会議の開催状況

月 日	区分	議案件数	協議件数	報告件数	選挙件数
H25年 4月25日	定例会	3	2	7	—
5月27日	定例会	—	1	5	—
6月24日	定例会	—	—	6	—
7月 8日	臨時会	1	—	—	—
7月24日	定例会	2	1	6	—
8月23日	定例会	1	1	3	—
9月25日	定例会	1	1	5	—
10月21日	定例会	1	2	3	1
11月25日	定例会	1	1	4	—
12月25日	定例会	3	—	5	—

月 日	区分	議案件数	協議件数	報告件数	選挙件数
H26年 1月24日	定例会	8	—	3	—
2月25日	定例会	3	2	3	—
3月13日	臨時会	1	—	—	—
3月27日	定例会	10	—	4	—
合 計					
定例会（12回）		35	11	54	1
臨時会（2回）		2	—	—	—

(3) 会議及び研修会等への参加状況

- ・平成25年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会
- ・平成25年度茨城県市町村教育委員会連合会定期総会及び講演会
- ・平成25年度市町村教育委員会教育委員研究協議会
- ・平成25年度茨城県市町村教育長協議会夏期・冬期研修会
- ・平成25年度教育委員視察研修会

(4) その他

- ・学校訪問等（幼稚園4園，小学校13校，中学校7校）

月日	訪 問 先
H25年 6月19日	村田小学校，第二中学校，上野小学校， 大賀小学校，第一中学校
6月21日	大宮北小学校，おがわ幼稚園，御前山幼稚園 御前山小学校
10月24日	美和中学校，美和幼稚園，大宮中学校
10月30日	大宮幼稚園，山方小学校，山方南小学校 山方中学校，御前山中学校
11月 7日	大宮小学校，大宮西小学校，美和幼稚園 緒川小学校，緒川中学校

- ・各幼稚園入園式・卒園式
- ・各小中学校入学式・卒業式
- ・各幼稚園運動会・各小学校運動会・各中学校体育祭
- ・常陸大宮市教育振興大会
- ・常陸大宮市賀詞交換会・成人式・駅伝大会・クロスカントリー大会
- ・その他各種事業への参加

3 個別事務事業（平成25年度事業）の点検評価結果

事業番号	事務事業名	所管部署	内部評価	点検評価
1	奨学資金貸与事業	教育総務課	拡充	拡充
2	小・中学校通学対策事業 (スクールバス運行等)	教育総務課	拡充	拡充
3	学校教育活動指導員配置事業	学校教育課	拡充	拡充
4	学校施設整備事業	学校教育課	現行どおり	現行どおり
5	教育支援センターカウンセラー・相談員配置事業	学校教育課	現行どおり	現行どおり
6	放課後子ども教室事業	生涯学習課	現行どおり	現行どおり
7	郷育立市づくり・生涯学習推進事業	生涯学習課	現行どおり	現行どおり
8	社会体育施設管理事業	生涯学習課	現行どおり	現行どおり
9	公民館講座開催事業 (大宮公民館)	生涯学習課	拡充	拡充
10	0歳児読書推進事業 (ブックスタート事業)	生涯学習課	現行どおり	現行どおり

平成26年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	1	部課局名	教育総務課																				
整理番号		事務事業対象年度	平成25年度																				
事務事業名	奨学資金貸与事業																						
事業の目的	常陸大宮市内の優良な生徒であって、経済的理由によって進学及び修学が困難な者に対して、学資及び入学手続に納入する金額(一時金)を貸与し、教育の機会均等を図り、もって有為な人材の育成に寄与することを目的とする。																						
事業概要	<p>毎年提出される奨学基金貸与願書に基づき奨学生選考委員会を開催し、対象者を選考し、該当者に貸与する。また、貸与終了後は、奨学資金の返還に関わる事務を掌り、奨学基金の管理も併せて行う。</p> <p>【奨学資金】募集人数 20名以内 ●貸付額(月額)</p> <p>【入学一時金】募集人数 5名以内 ●貸付額(当該学校の入学一時金の額以内)</p> <table border="0"> <tr> <td>・高等学校</td> <td>2万円</td> <td>・専門学校</td> <td>100万円以内</td> </tr> <tr> <td>・高等専門学校(1～3年生迄)</td> <td>〃</td> <td>・短期大学</td> <td>150万円以内</td> </tr> <tr> <td>・高等専門学校(4年生以上)</td> <td>5万円</td> <td>・大学</td> <td>200万円以内</td> </tr> <tr> <td>・専門学校(専修学校専門課程)</td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・大学・短期大学</td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			・高等学校	2万円	・専門学校	100万円以内	・高等専門学校(1～3年生迄)	〃	・短期大学	150万円以内	・高等専門学校(4年生以上)	5万円	・大学	200万円以内	・専門学校(専修学校専門課程)	〃			・大学・短期大学	〃		
・高等学校	2万円	・専門学校	100万円以内																				
・高等専門学校(1～3年生迄)	〃	・短期大学	150万円以内																				
・高等専門学校(4年生以上)	5万円	・大学	200万円以内																				
・専門学校(専修学校専門課程)	〃																						
・大学・短期大学	〃																						
内部評価結果	①事業執行状況(Ⅲ)の評価結果																						
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果は高い <input type="radio"/> 必要性・効果はある <input type="radio"/> 必要性・効果は無い																						
	②今後の方針																						
<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止																							
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止																					
	点検評価結果理由	<p>A委員:【拡充】現在の経済状況や地域づくりに有用となる人材育成のために必要な事業であり、さらなる拡充が必要である。</p> <p>B委員:【拡充】奨学資金の貸与・給付事業は、是非、拡大していただきたい。生まれた家の経済状況で優秀な人材が学べなくなることの無いように、国県市、民間、いろいろな制度があるが、拡充が求められている。</p> <p>C委員:【拡充】長年にわたり実施し、貸与者も増加の傾向にあり、それなりに実績を上げている事業なので、必要な事業と認められる。</p>																					
	主な意見	<p>A委員:受益者の立場に立った貸与の条件や返済方法・返済期間の再検討をして欲しい。また、現在計画中の給付奨学金制度の確立・早期開始に努めて欲しい。</p> <p>B委員:アメリカ合衆国においても、奨学金返済問題が社会問題化している。貸与ではなく給与にすべきではないかとの意見が多くなってきている。そのような時期に、奨学金を一部とはいえ、貸与から給付に切り替えることは、時宜にかなった施策である。</p> <p>C委員:市内の優秀な生徒であって、経済的理由により修学等が困難な者に対し、奨学資金を貸与することによって、人材の育成が図られる。</p>																					

平成26年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	2	部課局名	教育総務課
整理番号		事務事業対象年度	平成25年度
事務事業名	小・中学校通学対策事業(スクールバス運行等)		
事業の目的	遠距離通学児童・生徒に対してスクールバスを運行することにより、利便性と安全・安心を確保するため、事業を実施するものである。遠距離通学児童・生徒に対してスクールバスを運行することにより、利便性と安全・安心を確保するため、事業を実施するものである。		
事業概要	スクールバスの維持管理。 スクールバスの運行委託。		
内部評価結果	①事業執行状況(Ⅲ)の評価結果		
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果は高い <input type="radio"/> 必要性・効果はある <input type="radio"/> 必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止		
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【拡充】学校統廃合を進め、児童・生徒の通学の安全を確保するために必要であり、拡充が求められる。</p> <p>B委員:【現行どおり】学校の統廃合に伴うスクールバスの運行は必要である。統廃合校が増加するため、拡充施策としたと思うが、施策自体の考え方は同じなので、金額は増加するが、現行どおりで良いのではないかと。</p> <p>C委員:【拡充】学校統合による通学区域の広範化を考えれば、児童・生徒の通学の安全を確保する観点から必要な事業である。</p>	
	主な意見	<p>A委員:地域の道路整備状況や利用者の人数にも関係すると理解はしているが、出来ることならば車両の乗り継ぎがない状況を考えて欲しい。また、これまでも事故はなかったが、さらなる安全運行に心掛けてほしい。</p> <p>B委員:統廃合を進めるにあたり、スクールバスの受益者負担を求めることは困難であるが、将来的には有償化を考えても良いのではないかと。</p> <p>C委員:各学校ごとのスクールバス運行委員会等において、利用者における課題等が検討されているようであるが、特に児童等の体力面、心身の育成にどのような影響があるか、その辺の課題も合わせて検討されたい。</p>	

平成26年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	3	部課局名	学校教育課
整理番号		事務事業対象年度	平成25年度
事務事業名	学校教育活動指導員配置事業		
事業の目的	非常勤講師を配置し、チーム・ティーチング(複数の教員による学習指導)による学習指導方法を授業に取り入れ、各学校において児童生徒にきめ細かな指導を実施する。		
事業概要	<p>非常勤講師の募集 講師雇用関係事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用期間 4月7日から3月27日 ・報酬 1時間あたり 1,750円 ・勤務時間 年間 1,015時間以内(週29時間) 		
内部評価結果	①事業執行状況(Ⅲ)の評価結果		
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果は高い <input type="radio"/> 必要性・効果はある <input type="radio"/> 必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止		
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【拡充】「特色ある教育内容の充実」を図る授業に必要な事業であり、さらなる拡充が必要である。</p> <p>B委員:【拡充】子どもたちの学力向上や生活指導などに複数の教師で取り組むことは、子どもたちの学習意欲向上や落ち着きに効果大と思われるので、今後とも拡充していただきたい。</p> <p>C委員:【拡充】きめ細やかな指導体制を図って行くためにも、必要性の高い事業である。</p>	
	主な意見	<p>A委員:小中学校全校への配置が必要である。そのためには、県への補助金要請も必要と思われる。</p> <p>B委員:陰山英男さんが、兵庫県の山奥の小学校で(朝来町立山口小学校)反復学習と子どもの意欲を引き出す教育実践で、教え子多数が有名大学に進学したことはあまりにも有名である。 子どもたちは、年配の先生よりも若い先生を好むので、やる気のある若い先生を配置していただきたい。</p> <p>C委員:学校活性化支援事業費補助金として1名分の県補助金が廃止されたが、必要性の高い事業であり、大きな成果を上げている実態を提示して、国や県等に補助金の復活を要請して行くことも必要ではないか。</p>	

平成26年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	4	部課局名	学校教育課
整理番号		事務事業対象年度	平成25年度
事務事業名	学校施設整備事業		
事業の目的	新耐震基準施行以前に建築された施設が多く全体的に老朽化が進んでいることから、耐震不足となった施設の耐震補強や大規模改修を行うなど、児童生徒が安全・安心に活動できる教育環境を整備する。		
事業概要	市内小中学校の施設整備及び改修に必要な設計業務並びに工事を行う。		
内部評価結果	①事業執行状況(Ⅲ)の評価結果		
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果は高い <input type="radio"/> 必要性・効果はある <input type="radio"/> 必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止		
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【現行どおり】児童・生徒の教育環境を整え、安全性を維持し高めるために必要な事業である。</p> <p>B委員:【現行どおり】小中学校の統廃合等の問題もあるが、子どもたちの安心安全のため、地域の避難施設としての重要性からも、粛々と進める事業である。</p> <p>C委員:【現行どおり】児童・生徒が安全で安心して勉学に励む事が出来る教育環境の整備は、極めて大事な事である。</p>	
	主な意見	<p>A委員:緊急避難所としての役割があるので、耐震化率の向上を図って欲しい。また、校舎の背後等にある山や崖に対する配慮や処置も考えて欲しい。実施後の安全管理も行って欲しい。</p> <p>B委員:近年の自然災害の多さから見ても、なるべく早く達成すべき事業である。</p> <p>C委員:先の大震災を考えれば、耐震化をはじめとする教育施設の整備は急を要することであり、今後とも継続して整備して行かなければならない。</p>	

平成26年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	5	部課局名	学校教育課
整理番号		事務事業対象年度	平成25年度
事務事業名	教育支援センターカウンセラー・相談員配置事業		
事業の目的	教育相談, 適応指導教室の運営を通して, 教育に関する相談に適切に応じ, 不登校児童生徒への援助及び指導の充実を図る。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児・児童生徒の教育上の諸問題についての教育相談(電話相談・来所相談) ・適応指導教室の運営(カウンセリングや体験活動) ・通級生・保護者に対する訪問支援 ・学校訪問(支援方針の検討・調整) ・ケース検討会 ・記録文書・報告書の作成 ・専門研修会の企画・実行 		
内部評価結果	①事業執行状況(Ⅲ)の評価結果		
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果は高い <input type="radio"/> 必要性・効果はある <input type="radio"/> 必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止		
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【現行どおり】相談員の配置が効果を現していると考えられるので,現行どおりの継続を図るべきである。</p> <p>B委員:【現行どおり】子どもの発達障害や保護者からの要望など、高度化多様化してきており、年々必要性が増してきている事業である。教員の資質向上も含めて取り組む課題である。</p> <p>C委員:【現行どおり】児童・生徒が心身ともに健やかに成長するためにも必要性が高く、継続を期待する。</p>	
	主な意見	<p>A委員:相談数の増加や不登校者の減少,教職員自身の相談が皆無など,大変良い状況にあるように思われ,現行通りで継続して欲しい。</p> <p>B委員:退職教員が再任用や特別職に就くことを望まない状況であるが、発掘活用に努めていただきたい。</p> <p>C委員:不登校などの教育相談件数が年々増加傾向にあることから、特に不登校解消支援だけでなく、不登校予防を目的とした支援を検討して行く必要がある。ので、本事業の援助・指導を望むものである。</p>	

平成26年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	6	部課局名	生涯学習課
整理番号		事務事業対象年度	平成25年度
事務事業名	放課後子ども教室事業		
事業の目的	放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を確保し、小学校の余裕教室などを活用して、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取組を実施する。		
事業概要	<p>放課後子ども教室を開催する学校を対象に、指導員を配置し参加児童を募集する。下校時から午後4時40分までの時間を教室開催時間とする。内容は、学習指導、昔の遊び、外部講師を招いての学習等、学校ごとに多彩な活動・指導を行う。放課後子ども教室提供事業(市の直轄事業)として実施した。</p> <p>○実施日:土曜日・日曜日・祝日を除く毎日(夏休み等の長期休業中は実施しない。)</p> <p>○実施時間:午後2時頃～午後4時40分</p> <p>○事業内容:宿題(宿題導),昔遊び,工作など</p>		
内部評価結果	①事業執行状況(Ⅲ)の評価結果		
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果は高い <input type="radio"/> 必要性・効果はある <input type="radio"/> 必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止			
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【現行どおり】市民からの継続要望の高い事業である。少なくとも現行どおりの事業推進が必要である。</p> <p>B委員:【現行どおり】常陸大宮市のこの事業への取り組みは質量共に県内で最も素晴らしい。他の市町村では週2回実施が多いが、5回実施は子どもにとっても親にとってもありがたいと思う。</p> <p>C委員:【現行どおり】核家族化や少子化に伴って、今後も必要性が高まって行くものと考えられる。</p>	
	主な意見	<p>A委員:国の重要な教育政策の一つであり、子どもたちだけでなく地域住民の生涯学習推進の機会でもある。予算の増強が認められるならば、内容の増強や新たな試みの提供などに心掛けたい。</p> <p>B委員:市直営事業として実施しているため職員負担が大きいので、民間委託等を検討しても良いのではないか。</p> <p>C委員:参加児童も多く、当然市民(保護者)からの継続を望む声も多い実態から、更なる拡充・強化を図るための財政支援が必要である。</p>	

平成26年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	7	部課局名	生涯学習課
整理番号		事務事業対象年度	平成25年度
事務事業名	郷育立市づくり・生涯学習推進事業		
事業の目的	「郷育立市」づくりの根本である市内小学4～6年生を対象に、地域の特産品や歴史民俗資料等を教材として体験や学習を通じ、地域の誇れるもの、すばらしいものについて学ぶ。また、市民・PTA会員・家庭教育学級生等を対象として常陸大宮市大使による講演会を開催し、今後の子育ての一助とする。		
事業概要	①講演会の開催 常陸大宮市による講演会を開催する。(内容:食育関係) ②常陸大宮のお宝発見事業の開催 郷育読本等を活用し、市内の誇れるもの、すばらしいものについて、話を聞いたり体験を通して学ぶ。		
内部評価結果	① 事業執行状況(Ⅲ)の評価結果		
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果は高い <input type="radio"/> 必要性・効果はある <input type="radio"/> 必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止			
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【現行どおり】子どもだけでなく大人を含めた「地域の理解」を深める生涯学習・学校外学習の機会として必要であり、少なくとも現行どおりの事業の推進が求められる。</p> <p>B委員:【現行どおり】郷育立市づくり事業が、学力向上から人間教育に変化したことは、時宜を得たものと考ええる。</p> <p>全国学力テストの1点2点に拘泥すること無く、調べ学習等に力を入れ「考える力」「生きる力」を持った子どもの育成を図ることが、今、日本に求められている。</p> <p>C委員:【現行どおり】地域にあるいろいろな教材を基に体験や学習を通じ、地域の素晴らしいことを学ぶことは極めて重要である。</p>	
	主な意見	<p>A委員:提供する学習内容に工夫が必要と思われる。講演会だけでなく、体験活動を含める必要があるのではないか。また、小学校低学年も対象者に含める必要はないのだろうか。</p> <p>B委員:地元のこと、自分が生まれ育った地域を学ぶことが、学習の第1歩である。まず、地域の誇れる者、物を学ぶことから始めて、自然、人文、社会科学分野へ少しずつ広げていくように取り組んでみては。それは、大人の生涯学習にも繋がると思う。</p> <p>C委員:折角の事業なので、広く多くの子ども達が体験できる方法を考えて行く必要があるのではないか。</p>	

平成26年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	8	部課局名	生涯学習課
整理番号		事務事業対象年度	平成25年度
事務事業名	社会体育施設管理事業		
事業の目的	市民に健全なスポーツ及びレクリエーションの場を提供し、体力の向上と健康づくりに寄与するため、各スポーツ施設の整備充実と適切な管理を推進することを目的とする。		
事業概要	社会体育施設の維持管理を行う。 ・修繕 ・維持・監理		
内部評価結果	①事業執行状況(Ⅲ)の評価結果		
	<input type="radio"/> 必要性・効果は高い <input checked="" type="radio"/> 必要性・効果はある <input type="radio"/> 必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止		
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	A委員:【現行どおり】市民の健全な健康維持と体力づくりにとってその活動拠点施設の維持管理は重要である。現行通りの事業推進が必要である。 B委員:【現行どおり】学校の耐震化や施設の維持保全は、近年全ての自治体で大きな課題となっている。財政状況が厳しい中、新設・改築は難しいので、適時適切に維持補修に取り組む必要がある。 C委員:【現行どおり】市民が日頃から気軽にスポーツに親しむために、スポーツ・レクリエーションの場を提供することは必要な事業である。	
	主な意見	A委員:健康維持やスポーツを通じた市民サービスの向上につながる関連施設の維持管理と利用者の安全に心掛けてこの事業を推進して欲しい。 B委員:住民にとって身近に施設があることが望ましいが、合併に伴い、人口規模から見れば施設数が多いと思われるので、統廃合を検討しても良いのではないか。大会等で施設を利用するのは、土日祝祭日がほとんどである。日常的に利用する体育館は、学校開放事業で対応できる。土日のグラウンド利用は、小学校を開放して可能である。 C委員:施設によって利用頻度にバラツキがあり、更に施設の老朽化等により、今後それらの施設をどう維持管理をして行くかの課題も多いと考えられる。	

平成26年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	9	部課局名	生涯学習課
整理番号		事務事業対象年度	平成25年度
事務事業名	公民館講座開催事業(大宮公民館)		
事業の目的	住民の教養の向上, 健康の増進, 情操の純化を図り, 生活文化の振興, 社会福祉の増進に寄与することを目的に公民館講座を開催する。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度末に講座の内容を決定し, 3月の広報で周知 ・広報お知らせ版で講座の内容を周知し, 受講者を募集する。 ・25年度は9講座を5月から翌年2月の間に実施。(パソコン教室は各5回2講座・他7教室は12回) ・25年度新規講座⇒社交ダンス ・講師謝金支払い(毎月口座振込み) ・分館講座の取り組み 		
内部評価結果	①事業執行状況(Ⅲ)の評価結果		
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果は高い <input type="radio"/> 必要性・効果はある <input type="radio"/> 必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止		
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【拡充】市民,特に成人や高齢者のための学習の機会提供という点で重要かつ必要であり,提供する学習内容のさらなる充実が必要である。</p> <p>B委員:【拡充】公民館講座の拡充は,全ての市町村に求められている。講座内容が実技系に偏りがちなので,教養系や人材養成にも注力願いたい。</p> <p>C委員:【現行どおり】市民を対象とした生涯学習の推進のためには,公民館の果たす役割は大きなものがある。</p>	
	主な意見	<p>A委員:分館の提供する学習内容の充実と関係職員の資質向上に心掛けることが必要と思われる。また,各館ごとに特色ある学習内容を提供することで参加者の分散化が図れると思われる。単年度・継続年度での各館統一テーマの設定も面白い試みではないかと考える。</p> <p>B委員:合併20周年に向けて,分館を含めた公民館の並列化に取り組んでいただきたい。分館を公民館への格上げと,地域集会所等へ変更するなど,市としてバランスのとれた施設づくり・再配置に努めていく必要がある。</p> <p>C委員:広く市民の声に対応すべく,大宮公民館をはじめ市の中心となる公民館での講座数は増やし,学ぶ機会を多くすることにより,分館での講座については,今後参加者の高齢化等による減少も考えられ,更にマンネリ化の傾向もあるので,むしろ縮小の方向を検討されたい。</p>	

平成26年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

点検評価番号	10	部課局名	生涯学習課
整理番号		事務事業対象年度	平成25年度
事務事業名	0歳児読書推進事業(ブックスタート事業)		
事業の目的	0歳児から絵本に対する興味を持たせて、乳幼児期からの読書を進めるとともに、親子のふれあいを深めることを目的とする。		
事業概要	ブックスタート事業は、子どもの健全育成の第一歩と思うので、今後とも続けていただきたい。3歳児、5歳児の絵本読み聞かせ事業など、重層的に取り組んでみては。		
内部評価結果	①事業執行状況(Ⅲ)の評価結果		
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果は高い <input type="radio"/> 必要性・効果はある <input type="radio"/> 必要性・効果は無い		
	②今後の方針		
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止		
点検評価委員による評価結果	点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止・廃止	
	点検評価結果理由	<p>A委員:【現行どおり】子どもの本への親しみや親子のふれあいを深める上で非常に大切で有効な試みの一つである。現行どおりの継続が必要である。</p> <p>B委員:【現行どおり】ブックスタート事業は、子どもの健全育成の第一歩と思うので、今後とも続けていただきたい。3歳児、5歳児の絵本読み聞かせ事業など、重層的に取り組んでみては。</p> <p>C委員:【現行どおり】適切な事業であるので、市民への啓発活動を更に進めて頂きたい。</p>	
	主な意見	<p>A委員:提供する絵本等の選書に十分な配慮をして欲しい。その後の読書活動を推進させるためにも図書館の絵本等の充実を図って欲しい。</p> <p>B委員:母親学級などで、読書推進と併せてスマホの使い方など、モバイル機器の使い方についても研修を行う必要があると考える。</p> <p>C委員:0歳児から絵本に興味を持たせて乳幼児から読書に関心を持たせることは、人間の成長にとって極めて大切であり、これからの読書推進の原動力となると考えられる。</p>	

平成26年度 常陸大宮市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果（平成25年度事業分）に関する所見

常陸大宮市教育行政点検評価委員 望月 厚志

1 教育委員会の活動状況

教育委員の状況,教育委員会会議の開催状況,教育委員会の協議事項,教育委員会の報告事項,教育委員会会議以外の活動状況ともに適正に執行及び活動されていると判断します。

学校の統廃合の議案の検討で,地域住民の理解を求めることや特に,教職員の適正な再配置に心がけてほしいと考えます。

2 教育委員会が管理・執行する事務

関係する法律・規定に基づき,適正に行われてきていると判断します。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

関係する法律・規定に基づき,適正に行われてきていると判断します。

平成26年度 常陸大宮市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果（平成25年度事業分）に関する所見

常陸大宮市教育行政点検評価委員 新家 洋一

1 教育委員会の活動状況

教育委員会会議等につきましては、合議制の執行機関として概ね適正に執行されております。

地教行法の一部改正に伴い、平成27年度から総合教育会議の設置や教育委員長と教育長の一本化など、スピード感を持った教育行政が期待されております。

教育委員の皆様には、重要施策・重点事項に積極的に取り組んでいただきたいと思っております。

2 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会執行業務については、概ね適正に執行されております。

町村合併から10年が経過し、また、小中学校の統廃合など着実に事務執行に努めておられます。

合併20周年に向けて、更に市の一元化に取り組まれますようご期待いたします。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

教育委員会事務局及び出先機関等の事務事業については、概ね適正に執行されております。

平成26年度 常陸大宮市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果（平成25年度事業分）に関する所見

常陸大宮市教育行政点検評価委員 沼田 彰

1 教育委員会の活動状況

教育委員会会議・協議・報告事項等すべて適切に執行されております。
会議以外の活動状況についても、幅広く活動されており、今後とも積極的な活動を期待します。

2 教育委員会が管理・執行する事務

適切に執行されております。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

適切に執行されております。
学校統合により遠距離通学に伴うスクールバスによる登下校が通常化し、これまでかなりの長距離を寒い日も暑い日にも拘わらず登下校していた子ども達の体力面での低下が心配されます。
本市教育目標の中にある、丈夫な体・耐える体・力強い体づくりに一層のご努力をお願いいたします。